

清黨運動の根據を明かにし 日本大衆黨員諸君に檄す

福田 狂 二

事際ひそかに田中首相を助れ、醜態なる金銭の授受によつて節を賣るもの、一人民政黨其の他の既成政黨の末輩代議士のみと云ふ勿れ、支配階級の比類なき暴徒下に呻吟せる全無産階級をひきいて起つ無産政黨の、況んや無産黨中最大の規模と實力を有する日本大衆黨の最高幹部にして既成政黨の代議士輩と何等變らざる行動あるは正に一大有怪事と稱すべく、吾々無産階級の深き誓成と断乎たる決意を要する所也

民政黨政治家の變節たるや、同一支配階級内部の問題にして、かかる舉動あるは當然中の當然なるべく吾等の聞ざる所也。然らば問ふ。無産政黨は？
そもそも、無産政黨は無産階級以外の何者の利害をも代表するものにあらず。支配階級とは真に氷炭相容れざる也。即ち、日本大衆黨幹部某々が、暮陰人にかれて田中首相大將田中義一を訪問し、無産大衆黨の下の無産階級なる金銭を收受し、車を圖みて快談するは、無産階級の歴史的使命を忘却したる卑劣漢と斷じて敢て駁する所也。

問題は小事に非ず。大事に非ず。況んや一箇の突放に非ず。血涙の歴史を踏襲し、支配階級をして手馴つけ易き洒弄物よと賞讃せしめ、無産階級解放の熱熱の熱念を放棄せよと叫ぶ。實に無産階級の恐怖おく能はざる所にして、無産政黨の成立以來空前未有の一大事件と云はざるべからず。同時に、吾等無産階級にとつて階級的偉力の強弱を天下に公示し、以て階級幹部を監視せしめる時期に當面する也。

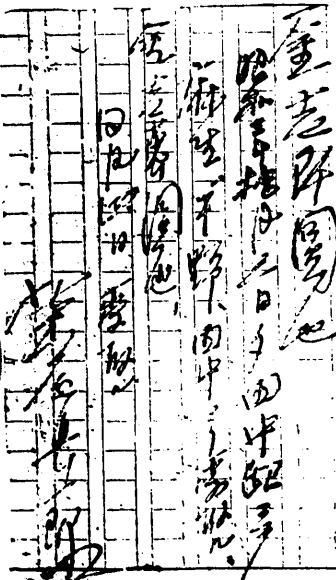
然らば、その收受せる金銭の用途に就きて穿きくするならば、一味醜類相寄りて持合の興味、嗜者を據して遊樂兒の如く呑み喰ひ盡消せるに至つては、無産階級よ、沈黙して彼等の指導下に盲従するを尙ほ恥辱也と思惟せざるか。然りか。

日本大衆黨員諸君。今や清黨運動の旗を高く掲ぐる時也。日本大衆黨の階級性を擁護するの時也。階級幹部の自決を促すべく敢て起すべし時也。今に立たつんば無産運動の前途や、暗雲低送して行くべき道を失ふのみか。吾人は以下調査せる事實を列記し、以て天下の全黨員諸君に機を飛ばさんとす。所以のものは、吾人の物好なる性格の故に非ず。一日の放任をも恐れたるに由る也。同志全国に洩り高を算するの時に進んで一本のツタの枝を果さんとする者は、吾人を指いて他に非ざるを望むべし也。

同時に此の聲明書は、吾人としては又重大なる聲明を意味するものにして、即ち、彼等階級幹部は、従らざる吾人の主張を認むし、彼等階級幹部の爲せる一切の反階級的行為は、福田狂二の爲せるもの、如く逆宣傳し大衆との離間策を講じんとしつゝあるに對する防衛也。幸の浦事件、反動大衆黨、日野黨大會事件等々問題は一二に止まらず。自己を尊ぶるとすれば他を斬らざるべからず。吾人何れ好んで吾人の同志を罵らんや。

事實の(一)

昭和三年十月三日、舊日本農民黨書記長平野力三及び日本労働黨書記長麻生久相たつさへて田中首相邸に東京大臣陸軍大將田中義一を訪問し、無産政黨の合同によつて浅原民権黨代議士、水谷山本新黨準備會所代議士、龜井社民衆黨代議士、並びに河上日野黨代議士をして、第五十六議會において對立問題、張作霖問題、地租増徴問題に就いて政府に合議すべき約束の下に金一十萬圓を受取り、翌十月四日平野力三は田中首相より金一十萬圓を受取り、尙、彼等は議會後約東を履行したる場合に於つては、無産政黨の金銭の授受を約束した。



(明説)

平野麻生の受取りし金銭は、龜町區三番町十番地漆屋敷、鈴木えつ方においてその他赤坂の待合にて數十回、麻生久、柴尾與一郎、平野力三等その一味の節技をあげて豪遊せる事實明かなり。この事實は十二月二十八日午後九時參拾分、一味の一人柴尾與一郎が龜町區本町にて吾人を訪問し、本町前に就きて不満を感じると稱し、高價版の如き一證を認めたり。



(明説)

事實の(二)



(明説)

昭和三年九月上旬、幸の浦(栃木縣中禪寺湖)に古河鍊業會社が發電所を設置せんとするや、麻生久等は反對運動を組織せり。幸の浦とは、明治天皇の命名せられし中禪寺湖の別名也。反對理由の中には發電所を作るは不敬也との理由も見られたり。然るに九月二十日、麻生久は古河鍊業會社に五萬圓にて賣り込み、河野密、田所輝明の三名が余を招じて、幸の浦事件を古河鍊業株式會社に五萬圓にて賣り込み、上回答すべき事を約したり。然るに、十月二日麻生久は古河鍊業株式會社常務取締役倉足尾鍊業所長、佐々木敏綱に面會しその後の二回に渡つて佐々木を訪問するに至つて同社社員の間には麻生は古河より買収せらるゝに至つたと噂されるに至れり。よつて、吾人は知人をして古河の受附を調査せしめたるところ十月十二日は午前十時頃であつた事判明せり、果して麻生久は幸の浦問題を中止したり。古川は麻生の裏返の敵にはあらずりしか。

事實の(三)

九月下旬、反動主義者高島宗之の宅に麻生久が訪れ、日本労働黨と連盟會を結成し將來合同せしむる旨を語り、連盟會の綱領を認むるとの條件にて金三萬圓を貸し與れと無産政黨の折柄、たまたま麻生に古川守邦氏訪るゝありて一切は購得せり。これ所謂、無産政黨史を汚辱する反動化事件の表裏也。
この狂瀆、かの銀行、無産階級にあるまじき行為が、眞實なる黨員の手に清く洗れぬんとするや、彼等は古河問題も反動化問題も吾人が煽動し爲せるもの、如く逆宣傳を逞ましうし、黨内における一切の進行の責任をなすが如き罪を弄するに至れり。又、田中義一との取引事件、一般に喧嘩せんとするや支配階級は合同を承諾せざるが、支配階級が金をバラ撒くならん、合同は彼等の

附記

かゝる狂瀆、麻生の醜態を以てこそ、日本農民黨日本労働黨の合同の全